ISSN 0287-2064

城西人文研究

第33巻

2018

川越観光化にみる蔵造りへのまなざしとその変化
髙橋珠州彦・山下琢巳・小口千明・古川　克（1）

「果て」ることのない痛み
――柳美里「8月の果て」試論―― ……神　村　和　美（49）

ボーイズラブによって攪乱／固定化されるジェンダー構造：
フェミニズムの視点から考えるボーイズラブの可能性 …大　橋　　稔（69）

＊　＊　＊

日向国延岡藩主内藤政順・充姫夫妻の婚礼 ……神　崎　直　美（*1*）

金子みすゞ童謡の中国語訳の試み（三） ……樊　　穎（*23*）

イェイツ『幻想録』（一九二五）に見る両極的思考の構図
―「序文」と本論「第一節」を中心に― ……小　堀　隆　司（*47*）

城　西　大　学

経　済　学　会

執筆者紹介（掲載順）

共著・髙橋珠州彦　特別講師
明星学園中学校・高等学校教諭（観光地理学）

・山下琢巳　経済学部准教授（経済地理学）

・小口千明　経済学部非常勤講師
筑波大学人文社会学系教授（歴史地理学）

・古川　克　埼玉県立飯能高等学校教諭（交通経済学）

神村和美　助　教（日本文学）

大橋　稔　准教授（女性学・ジェンダー研究
・アメリカ黒人女性研究）

神崎直美　教　授（日本史）

樊　穎　助　教（日中比較文学）

小堀隆司　教　授（英文学）

（掲載された論文は査読を経たものである。）

題字は

本学の故蒔田栄一教授の執筆による。

城西人文研究

第33巻

2018年

城　西　大　学

城西人文研究　既刊総目次

創刊号（1973 年）

序……武　市　春　男
『城西人文研究』の創刊に際して ……蒔　田　栄　一
ニーチェとキリスト教倫理……木　阪　昌　知
マヤの石造建築における「持送りアーチ」について……貞　末　堯　司
意味と認識
　――パース研究(4)――……西　勝　忠　男
シーハラヴァットパカラナ訳註（Ⅱ）
　――第 1 章　第 3・4・5 話――　……森　　祖　道
独白と対話
　――ジョイスとベローの距離――　……茂　呂　公　一
ポーにおけるグロテスクとアラベスク……水　田　宗　子
内村鑑三おぼえ書き（その八）……岩　谷　元　輝
人間の社会的構造と疎外……松　浦　孝　作
『霊魂の系図』について
　――Carlyle を中心として――　……松　田　福　松
カフカの世界
　――非ユダヤ的ユダヤ人――　……山　口　　勲

第 2 号――蒔田栄一教授追悼論文集――（1974 年）

巻　頭　言……武　市　春　男
バスク語の単文における語順の文体的価値について……堀　田　郷　弘
内村鑑三おぼえ書（その九）……岩　谷　元　輝
精神病理学的立場からみたニーチェ思想の枠構造(1) ……木　阪　昌　知
『サムラー氏の惑星』試論 ……森　　哲　夫
「キリスト者貴族に与う」にみられるルターの思想考 ……太　田　　広
宗教史にみる日本的均衡のメカニズム（Ⅳ）
　――マーケティングと宗教の関連において――　……渡　辺　好　章
遠近法と身体性について……山　口　　勲

同一性（アイデンティティ）に関する諸問題――その一 ……帆足喜与子
凉袋稿『風雅艶談』浮舟部――翻刻―― ……黄色瑞華
「紙」以前の書写の用材について―― ……井口大介
故蒔田栄一教授　追悼……松田福松
ああ蒔田栄一先生よ……伊部政一

第３号――城西大学開学十周年記念論文集――（1975 年）

アンデス古代文明の諸問題……貞松堯司
発見の哲学――パース研究⑹―― ……西勝忠男
首都圏の都市成長前線帯におけるサービス業地域の形成
――埼玉県坂戸町「きどうち」と「駅東通り」の比較―― ……田村正夫
鉄齋と華山……小野浩
日本民主主義研究序論……森田昌幸
遠近法と身体性――その哲学的意味―― ……山口勲
Feminine Failure and the Modern Hero: Mad Women
in Sylvia Plath's *The Bell Jar* and Joan Didion's
Play It As It Lays ……水田宗子
『おらが春』の素材 ……黄色瑞華
日本におけるアンドレ・マルロー受容
――1941 年（昭 16）まで―― ……堀田郷弘
ジェイムズ・ジョイス研究――造形への意識―― ……茂呂公一
作品とその批評
――*Robert Elsmere* と "Robert Elsmere"―― ……萩原博子
司馬遷論……黒羽英男
三代日本主義の系譜について……松田福松

第４号（1977 年）

論理の自律性について――パース研究⑺―― ……西勝忠男
カントの「定言命法」……山口勲
中央アメリカの考古学史
――先コロンブス期文化の研究を中心とした―― ……貞末堯司
クレアラ・アン・ペイター覚え書……萩原博子

『教育者としてのショーペンハウアー』から
——ニーチェと自然—— ……河　内　信　弘
アンドレ・マルローと日本行動主義文学運動……堀　田　郷　弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅱ）——生命の美学—— ……陶　山　　曖
冷たき牧歌
——キーツの『ギリシャの壺の賦』によせて—— ……永　井　豊　実
『おらが春』の素材（続）……黄　色　瑞　華
歌人「安江不空」……小　野　　浩

第 5 号（1978 年）

南アメリカの考古学史……貞　末　堯　司
Manorathapūrani 源泉資料年代論 ……森　　祖　道
大学英語教育の問題点（上）……鮫　島　久　男
クレアラ・アン・ペイター覚え書（Ⅱ）……萩　原　博　子
『シンベリン』皮肉な遊戯 ……戸　所　宏　之
カフカ研究の視座を求めて……山　口　　勲
東京日仏会館開館式におけるマルロー氏の演説（1960 年 2 月 22 日）
と東京羽田空港におけるインタヴュー（2 月 29 日） ……堀　田　郷　弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅲ）……陶　山　　曖
ニーチェと自然（一）……河　内　信　弘
『おらが春』第一話の設定をめぐって ……黄　色　瑞　華

第 6 号（1979 年）

ヴィトゲンシュタインの思想を理解するために……山　口　　勲
パーソナリティテストとしての SCT に関する一考察
——特に応用とその解釈をめぐって—— ……駒　崎　　勉
ジェイムズ・ジョイスの手法について（Ⅰ）
——我国におけるジョイス評価の推移—— ……茂　呂　公　一
A Textual History of Walter Pater's
Renaissance ……Hiroko Hagiwara
マクベスの意識構造——「運命」「眠り」「時」—— ……小　野　　昌
ニーチェと自然（二）——『悲劇の誕生』—— ……河　内　信　弘
全集本『おらが春』について……黄　色　瑞　華

第 7 号（1980 年）

ヤスパースとフッサール
——精神病理学の哲学的基礎—— ……山　口　　勲
PANTUN——puisi dan puisi rupa—— ……黄　色　瑞　華
国際水利法に関する一考察……土　屋　　生
ジェイムズ・ジョイスの手法について（Ⅱ）
——我国におけるジョイス評価の推移—— ……茂　呂　公　一
The Development of the Audiolingual Approach
——Trends in Language Methodology in the United States——
……Fumiko Tamura
『空騒ぎ』の冥と光——偽りの力学—— ……戸　所　宏　之
「エンディミオン」における映像のあり方 ……永　井　豊　実
『ヴェニスの商人』における Venture について ……小　野　　昌
カミュとニーチェ——『異邦人』と〈神の死〉—— ……村　岡　正　明
アンドレ・ジッドの方法（Ⅳ）——生命の美学—— ……陶　山　　曖
「騎士と死神と悪魔」
——『悲劇の誕生』におけるデューラーの銅版画をめぐって——
……河　内　信　弘

第 8 号（1981 年）

ヴィトゲンシュタインのケムブリッジ……山　口　　勲
アメリカ文化論（Ⅰ）……小松　光・金勝　久・茂呂公一・黒沢順三
シャルル・モーロンの「精神批評」(1)……越坂部　則　道
「高き山々の頂きから」
——『善悪の彼岸』に添えられた詩に関する一つの試み—— ……河　内　信　弘
思想家としてのニイチェ……小　野　　浩
『四山藁』の俳論 ……黄　色　瑞　華

第 9 号（1982 年）

アメリカ文化論（Ⅱ）……金　勝　　久
ジョイスのパドバ・エッセイについて……茂　呂　公　一

アンドレ・マルローの最初の美術論
《*La Peinture de Galanis*》(1922) について
——マルローの初期の美術論の研究(前)—— ……堀　田　郷　弘
シャルル・モーロンの「精神批評」(2)……越坂部　則　道
教育場面における夢の活用(Ⅰ)
——その背景としてのフロイトとユング—— ……細　部　国　明
身・語・意の三業(tīni kammāni)と carita, saṅkhāra,
samācāra ……池　田　練太郎
詩的コスモゴニーへの論理
——ランボー詩の内的世界—— ……川那部　保　明
ハイデガー先生の想ひ出……小　野　　浩
〔研究ノート〕
俳諧連歌における謡曲の文句取り(一)……黄　色　瑞　華

第10号(1983年)

ヴィトゲンシュタイン:太洋の測量技師
——逆限定のパトス—— ……山　口　　勲
アメリカ文化論(Ⅲ)……金　勝　　久
ジョイスのディケンズ・エッセイについて……茂　呂　公　一
教育場面における夢の活用(Ⅱ)
——夢と宗教——……細　部　国　明
Zur Entwicklung der deutschen Sprache
in der DDR ……Kuniomi Uchimura
『失われた時を求めて』における作中人物の出現と
話者のまなざし……北川原　哲　夫
カミュと〈他者〉……村　岡　正　明
〔書　評〕
(Ⅰ) LE DASAVATTHUPPAKARANA
Édité et traduit par Jacqueline VER EECKE
(Ⅱ) LE SĪHALAVATTHUPPAKARANA
Texte pāli et traducation par Jacqueline VER EECKE
……森　　祖　道

〔研究ノート〕
渭浜庵執筆一茶……黄　色　瑞　華

第 11 号（1984 年）
〈人間＝記号〉論について ……西　勝　忠　男
教育場面における夢の活用（Ⅲ）
——ユングの宗教夢解釈に対するフロムの批判—— ……細　部　国　明
Erühneuhochdeutsch und Buchdruckerkunst－Ⅲ.
Die Herausbildung der (verbalen) Satzklammer ……藤　井　明　彦
Didaktische Probleme des Geschichtsunterrichts in den
sozialistischen Ländern am Beispiel der UdSSR ……Stefan Wundt
知と自我
——初期シェリング哲学の原理について—— ……小　林　保　則
歌人　安江不空……小　野　　浩
『我春集』の序文をめぐって ……黄　色　瑞　華

第 12 号（1985 年）
ロンゴバルディ侵住建国をめぐる諸問題
——イタリア民族形成史の一こま——……森　田　鉄　郎
教育場面における夢の活用（Ⅳ）
——ユングの宗教夢解釈に対するボスの批判—— ……細　部　国　明
ベン・ジョンソンの男性的雄弁の美学
——*Timber* の詩論を通じてジョンソンの詩を読む—— ……平　松　哲　司
Die Kommunistische Erziehung und ihre
Wertvorstellungen ……Stefan Wundt
シャルル・モーロンの「精神批評」(3)……越坂部　則　道
『我春集』から『株番』へ ……黄　色　瑞　華
〔研究ノート〕
農村集落における精神的ムラ境の諸相
——茨城県桜村における虫送りと道切りを事例として——……小　口　千　明
ヴァイマル憲法制定国民議会における裁判官の審査権
——「ヴァイマル憲法下の裁判官の審査権」研究序説—— ……畑　尻　　剛
グスターフ・フライタークの〈Soll und Haben〉……鈴　木　敏　夫

第 13 号（1986 年）

巻　頭　言……石　　南　國
“鏡” の論理から “魂” の論理へ
　――人間記号論序説―― ……西　勝　忠　男
北欧中世（スエーデン）における自力救済慣行
　――実力社会の一考察―― ……伏　島　正　義
潮湯の偏在性に関する地理学的予察
　――日本における海水浴普及との関連から―― ……小　口　千　明
ジョイスの “Exiles” における受難の思想について……茂　呂　公　一
Eloisa と Belinda の相違 ……石　川　郁　二
状態動詞・完了形・進行形・状態受動態に
　見られる共通特性……鎌　田　精三郎
R. Huch の〈スイスの春〉覚え書
　――研究ノート―― ……鈴　木　敏　夫
J. ヴァイスヴァイラーの Seele の語源説をめぐって ……藤　井　明　彦
ヴァージニア・ウルフ『燈台へ』における視点と
　人物描写について……飯　塚　英　一
エアリエルの材源再考……門　野　　泉
パトナム，シドニーの *sprezzatura* 精神
　――宮廷世界の美学と「ルネサンス・ヒューマニズム」の対峙――
……平　松　哲　司
The Dimensions of the U. S.—Japanese
　Cultural Conflicts Underlying the Trade Issue ……古　川　友　章
神話概念の変遷Ⅱ
　――翻訳語としての『神話』をめぐって（上）―― ……天　沼　春　樹
自己言及のかたち
　――『イリュミナシオン』「生活Ⅲ」と「生活Ⅰ」を読む―― ……新　宅　　巖
フロベールにおける登場人物と場面……大久保　政　憲
『息子』
　――翻　訳―― ……アルトゥール・シュニッツラー
春　日　正　男
『バシュラールと過したひと夏』とその研究Ⅰ ……越坂部　則　道
アンドレ・ジッドの方法（Ⅵ）……陶　山　　曖

アンドレ・マルロー「ルオーの新作についての覚書——
　絵画における悲劇的表現をめぐって」の翻訳と解題……堀　田　郷　弘
「シルス・マリーア」をめぐって ……河　内　信　弘
日中戦争開戦当初における対植民地・「満州」米政策 ……大豆生田　　稔
歌人　安江不空・序(3)
　——大和歌の問題—— ……小　野　　浩
『志多良』の序文をめぐって ……黄　色　瑞　華
高橋克巳論——虚無僧のパトス……山　口　　勲

第 14 号（1987 年）

Mahāsīvatthera as Seen in the Pāli Aṭṭhakathās ……Sodō Mori
キーツの『秋に寄せて』（二）
　——第 2 連の情景—— ……永　井　豊　実
坪内逍遙とシェイクスピア
　——帝劇『ハムレット』をめぐって—— ……小　野　　昌
TENSE and TIME in English ……Seizaburo Kamata
コシンスキーの『自己芸術』：*Steps* をめぐって……繁　田　眞　弓
Kajii Motojiros “Fliegen im Winter” ……Stefan Wundt
E. T. A. ホフマン『さびれた家』
　——作話技術を中心に ……齊　藤　　洋
バルザックの小説の提示部について……佐　野　栄　一
〔研究ノート〕
ニーチェにおける詩人
　——ニーチェの詩の理解のために——……河　内　信　弘
〔研究ノート〕
井泉水編『一茶俳句集』入集の句（一）……黄　色　瑞　華
イェイツの「一エーカーの草地」について
　——〈悟り〉か〈狂気〉か—— ……小　堀　隆　司
アポリネールの恋の詩と真実……堀　田　郷　弘

第 15 巻　第 1 号（1987 年）

推論の妥当性から〈魂〉の論理性へ……西　勝　忠　男

"Elegy to the Memory of an Unfortunate
Lady" と "Eloisa to Abelard" ……石　川　郁　二
Faerie Queene, Book Ⅰにおける「光」と「闇」……古　川　啓　二
〔研究ノート〕
井泉水編『一茶俳句集』入集の句（二）……黄　色　瑞　華
「松のひゞき波をしらぶ」考 ……安　保　博　史
イェイツ「マイケル・ロバーツの二重の幻想」について
——幻滅の狡智—— ……小　堀　隆　司

第 15 巻　第 2 号（1987 年）

A Study of the *Sihalavatthuppakarana* ……Sodō Mori
The Acquisition of English and the Learner's Attitude
——Motivation vs. Ego Boundary—— ……Fumiko Tamura
James Joyce の "Exiles" と芥川龍之介の
『藪の中』との類縁性（1）
——人物像を中心にして—— ……茂　呂　公　一
結婚で終わらない喜劇，*Love's Labour's Lost* の構造 ……小　野　　昌
テーオドア・フォンターネ：グスタフ・フライタークの
〈借り方と貸し方〉（試訳）……鈴　木　敏　夫
ゲーテの『ヴィルヘルム・マイスターの遍歴時代』
におけるマカーリエ神話……荻　野　静　男
神話概念の変遷Ⅰ
——Mythos の語史に関して（上）—— ……天　沼　春　樹
ニーチェにおける夕
——詩人としてのニーチェ—— ……河　内　信　弘
〔研究ノート〕
井泉水編『一茶俳句集』の句（三）……黄　色　瑞　華

第 16 巻　第 1 号（1988 年）

ジョイスの "Exiles" と芥川龍之介の『藪の中』に
おける卍巴模様の構造と，真相の曖昧さの
意味について
——ジョイス受容史への加筆の試み—— ……茂　呂　公　一

カミュの「無差異」について……村　岡　正　明
Dostoevskij の小説における思想上の傾向　……シュテファン・ヴント
イェイツ「ビザンチウムへの船出」について
　――聖なる彼方の詭計――　……小　堀　隆　司
バシュラールの死をめぐって
　――『バシュラールと過ごしたひと夏』とその研究Ⅱ――　……越坂部　則　道
ニーチェにおける第七の孤独……河　内　信　弘
〔研究ノート〕
井泉水編『一茶俳句集』入集の句（四）……黄　色　瑞　華

第 16 巻　第 2 号（1988 年）

ワーグナーの楽劇『トリスタンとイゾルデ』
　――《死の薬》をめぐって――……春　日　正　男
『結婚の生理学』におけるバルザックの政治
　と文学の問題……佐　野　栄　一
イェイツの「塔」について
　――反復としての回想――　……小　堀　隆　司
〔研究ノート〕
井泉水編『一茶俳句集』入集の句（五）……黄　色　瑞　華

第 17 巻　第 1 号（1989 年）

The Value of the Pāli Commentaries as
　Research Material　……Sodō Mori
Eloisa は幸福を手に入れるか
　――*An Essay on Man* を基にして――　……石　川　郁　二
西ベルリンと国際関係
　――ドイツ人のベルリン報告――　……シュテファン・ヴント
Zur Erzählstruktur in Kafkas
　《Von den Gleichnissen》　……Tetsuo Kotani
ディオニュソス酔歌（翻訳）……河　内　信　弘
〔研究ノート〕
井泉水編『一茶俳句集』入集の句（六）……黄　色　瑞　華
会員消息欄

第 17 巻　第 2 号（1990 年）

乳児の発達……細　部　国　明
モーツァルトの『魔笛』
　――オペラにおける教養小説――　……春　日　正　男
A Review of Tesl Method　……John Parsons
“詩的に”考える
　――ハイデッガーの作品『思い出』における
　　考えることの本質への問い――　……高　島　　明
イェイツ『鷹の井戸』
　――転生のための不可能性――　……小　堀　隆　司
一人称のパシュラール
　――『パシュラールと過したひと夏』とその研究Ⅲ――　……越坂部　則　道
〔研究ノート〕
井泉水編『一茶俳句集』入集の句（七）……黄　色　瑞　華

第 18 巻　第 1 号（1990 年）

水滴の歌
　――T. S. エリオットの声――　……佐　藤　　亨
呪文としての文学
　――『アメリカ人の成り立ち』の場合――　……三　芳　康　義
イェイツ『煉獄』について
　――生の呪詛と断念――　……小　堀　隆　司
アンドレ・ジッドの方法（Ⅶ）
　『法王庁の抜け穴』をめぐって（その 1）……陶　山　　曖
〔研究ノート〕
井泉水編『一茶俳句集』入集の句（完）……黄　色　瑞　華
会員消息欄

第 18 巻　第 2 号（1991 年）

The Temple of Fame における
　過去，現在，未来……石　川　郁　二
中国の古典比喩理論
　――日本と西洋との比較を通して――……楊　　麗　　雅

〔研究ノート〕
幼児期以後の発達……細　部　国　明
Changing Views of the West's Impact
on China ……J. H. Parsons
ドイツ民主共和国における拒否的教養小説の
影響力……シュテファン・ヴント
ワーグナーの『ローエングリン』
――引き裂かれた魂―― ……春　日　正　男
〔翻　訳〕
プリンツ・フォーゲルフライの歌
――"Die fröhliche Wissenschaft" にそえられた
ニーチェの詩の翻訳の試み―― ……河　内　信　弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅷ）
『法王庁の抜け穴』（その２）
――『鎖を離れたプロメテ』と『パリュード』をめぐって――
……陶　山　　曤

第 19 巻　第 1 号（1991 年）

『恋の骨折り損』の春と冬のかけ合いについて ……小　野　　昌
制度化された学校教育の功罪への問い
――I. イリッチ，K. アウリン，E. E. ガィスラーの
学校論を廻って―― ……高　島　　明
漱石文学の比喩表現におけるイメージ研究
――夢・絵画・幽麗―― ……楊　　麗　　雅
イェイツ「自我と魂の対話」について……小　堀　隆　司
アンドレ・ジッドの方法（Ⅸ）
『インモラリスト』――ソチの観点から……陶　山　　曤
〔翻　訳〕
菊池　寛：蘭学事始……河内信弘，シュテファン・ヴント（共訳）
〔研究ノート〕
嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解（1） ……黄　色　瑞　華

第 19 巻　第 2 号（1992 年）
道化のコンセプト……小　野　　昌
日本語助詞「は」と「が」
——情報伝達の観点から——　……鎌　田　精三郎
夏目漱石の比喩論……楊　　麗　　雅
ガートルード・スタイン：「戯曲」の始まり　……三　芳　康　義
〔翻　訳〕
中島　敦：『弟子』……河内信弘，シュテファン・ヴント（共訳）
〔研究ノート〕
嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解（2）　……黄　色　瑞　華

第 20 巻　第 1 号（1992 年）
リルケとロシア絵画——三つの計画——……安　家　達　也
〔研究ノート〕
教育評価について……細　部　国　明
嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解（3）　……黄　色　瑞　華
〔翻　訳〕
中島　敦：『弟子（その 2）』および『山月記』
……河内信弘，シュテファン・ヴント（共訳）
「慰められるクフーリン」と「黒い塔」について
——イェイツ最後の動揺——　……小　堀　隆　司

第 20 巻　第 2 号（1993 年）
G. スタインの「メランクサ」
——“Bottom Nature” を求めて　……三　芳　康　義
〔研究ノート〕
エーミール・エルマティンガーの
「ゴットフリート・ケラーの生涯」（再読）……鈴　木　敏　夫
知能について——知能構造と教育——　……細　部　国　明
嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解（4）　……黄　色　瑞　華
〔書　評〕
「会社主義」と法——紹介＝東京大学社会科学研究所編
『現代日本社会』（全 7 巻）——　……述　田　　斉

イェイツ「動揺」について（Ⅰ）
——〈存在〉から遙か離れて—— ……小　堀　隆　司

第21巻　第1号（1993年）
アンドレ・ジッドの方法（Ⅹ）
——『インモラリスト』—ソチの観点から(2)——　……陶　山　　曖
シェイクスピアの『リア王』の材源について……小　野　　昌
ワーグナーの『さまよえるオランダ人』
——永遠に呪われた者の救済について—— ……春　日　正　男
〔翻　訳〕
中島　敦：『李陵』……河内信弘，シュテファン・ヴント（共訳）
〔研究ノート〕
嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(5) ……黄　色　瑞　華

第21巻　第2号（1994年）
アンドレ・ジッドの方法（Ⅺ）
——『インモラリスト』—そのマニュスクリを追って——　……鈴　木　たけし
坪内逍遙と福田恆存
——劇作家とシェイクスピア——　……小　野　　昌
〔研究ノート〕
嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(6) ……黄　色　瑞　華

第22巻（1995年）
アンドレ・ジッドの方法（ⅩⅢ）
——『インモラリスト』—そのマニュスクリを追って(3)——　……鈴　木　たけし
〔翻　訳〕
中島　敦：『李陵』（その2）……シュテファン・ヴント，河内信弘（共訳）
〔研究ノート〕
嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(7) ……黄　色　瑞　華

第23・24巻　合併号（1997年）
シェイクスピアの『リア王』のテイトによる改作について……小　野　　昌

Passion と Virtue の構成
——*Eloisa to Abelard*——……石　川　郁　二
イェイツ「動揺」について（Ⅱ）〈承前〉……小　堀　隆　司

第 25 巻（1999 年）
自伝論について……鈴　木　敏　夫
『レノーレ』のケルトの余韻 ……永　井　豊　実
現代日本語の未完了アスペクトと未来表現……鎌　田　精三郎
アンドレ・ジッドをめぐるエッセー Ⅰ
——『新感情教育』草稿と『ブルターニュ紀行』
をめぐって ……鈴　木　たけし
萩原朔太郎「ニイチェに就いての雑感」について……河　内　信　弘

第 26 巻（2000 年）
イェイツ「万霊節の夜」について
——その果しなき思惟の詩学—— ……小　堀　隆　司
アンドレ・ジッドの方法（Ⅻ）
——『インモラリスト』—そのマニュスクリを
追って(6)—— ……鈴　木　たけし
「ツァラトゥストラの歌」ニーチェ　1883-1885 ……河　内　信　弘
〔研究ノート〕
嘉永版『俳諧　一茶発句集』全注解(8) ……黄　色　瑞　華

第 27 巻（2002 年）
リアの 3 人の娘たちと王権の行方……小　野　　昌
水戸藩「刑典摘要」について
——解題と翻刻—— ……神　崎　直　美
〔研究ノート〕
嘉永版『俳諧　一茶発句集』全注解(9) ……黄　色　瑞　華

第 28 巻（2003 年）
イェイツ
「ハールーン・アル＝ラシードの贈り物」について（Ⅰ）…小　堀　隆　司

西国筋郡代寺西元栄の徒罪認識と人足寄場改革案
——老中水野忠邦への上申書を素材として—— ……神　崎　直　美
〔研究ノート〕
G. ケラー『緑のハインリヒ』
——三人の女性登場人物の背景描写—— ……鈴　木　敏　夫
嘉永版『俳諧　一茶発句集』全注解 ⑽ ……黄　色　瑞　華

第 29 巻（2006 年）
制限主権論……森　田　昌　幸
アメリカ黒人女性の奴隷体験
——ブラック・フェミニズムの源流を探して—— ……大　橋　　稔
〔研究ノート〕
文章理解を促進する図解についての
認知心理学的研究……鈴木明夫・粟津俊二
『おらが春』所収句全注解（六）……黄　色　瑞　華
イェイツ「学童たちのなかで」（その一）……小　堀　隆　司
「たわむれ　たくらみ　しかえし」
——『楽しい知識』に添えられたニーチェの詩の翻訳の試み—— ……河　内　信　弘
「刑法新律草稿」に関する一考察
——彦根藩佐野領「刑法窺留」を素材として—— ……神　崎　直　美

第 30 巻（2009 年）
ブラウン訴訟事件判決後の米国公立学校での人種要因
考慮プログラムを巡るシアトル第一学区訴訟判決について
……日　吉　和　子
“honour is the subject of my story”:
Representing the Construction
of Male Selfhood in *Julius Caesar* ……Minako NAKAMURA
『おらが春』所収句全注解（七）……黄　色　瑞　華
日向国延岡藩内藤充真院の鎌倉旅行
——光明寺廟所参拝と名所めぐり—— ……神　崎　直　美
『大つごもり』の「をどり」について
——解説と考察—— ……井　汲　明　夫

第 31 巻（2012 年）

アラン・シャルティエの『つれない美女』(1)……永　井　豊　実
E. S. ガードナーの「ペリー・メイスン」絶滅の謎 ……日　吉　和　子
アメリカ黒人女性作家と新奴隷体験記
——奴隷制の記憶の受容と克服—— ……大　橋　　稔
“Mine honesty and I begin to square”:
Masters and Servants in *Antony and Cleopatra* ……Minako NAKAMURA
日向国延岡藩内藤充真院の蔵書
——蔵書の分野と関心事項について—— ……神　崎　直　美
金子みすゞ童謡の中国語訳の試み……樊　　穎

第 32 巻（2015 年）

佐多の走った道と住んだ家……井　汲　明　夫
日向国延岡藩内藤充真院の大坂寺社参詣……神　崎　直　美
金子みすゞ童謡の中国語訳の試み（二）……樊　　穎
イェイツ『幻想録』（一九二五）の「献辞」について ……小　堀　隆　司

城 西 大 学 経 済 学 会 会 則

第１条　本会は城西大学経済学会と称する。

第２条　本会は事務局を城西大学経済学部内に置く。

第３条　本会は経済学、経営学、人文・社会諸科学の研究および発表を目的とする。

第４条　本会は次の事業を行う。

1.　機関誌『城西経済学会誌』および『城西人文研究』の発行。
2.　研究会および講演会の開催。
3.　その他必要と認める事業。

第５条　本会は次の者をもって組織する。

1.　正 会 員　　本学経済学部の教授、准教授、講師、助教および助手。
2.　特別会員　　評議員会の承認を得た者。
3.　準 会 員　　本学経済学部および大学院経済学研究科の学生。

第６条　正会員および準会員は次の会費を納入するものとする。

正 会 員　年額　10,000円
特別会員　年額　10,000円
準 会 員　年額　 2,000円

但し、準会員に対する会費徴収は、当分の間行わない。

第７条　本会に次の機関を置く。

1.　会　　長　　経済学部長がこれに就任する。
2.　会員総会　　正会員全員をもってこれを構成する。
3.　評議員会　　本学経済学部の教授、准教授、講師および助教をもってこれを構成する。
4.　委 員 会　　委員は正会員中より会長がこれを選考し、評議員会の承認を得て委嘱する。
5.　機関誌編集、研究会、講演会、庶務および会計の職務分担は委員会においてこれを定める。

第８条　正会員は、機関誌『城西経済学会誌』および『城西人文研究』の配布を受ける。特別会員および準会員は、希望に応じて機関誌の配布を受けることができる。

第９条　本会会則の改正は、正会員２分の１以上出席し、その３分の２以上の

賛成をもってこれを決議する。

第10条　本会会則は昭和40年４月20日より施行する。

＊昭和49年４月改正（『城西人文研究』創刊）
昭和52年４月改正（会費3,000円）
昭和54年４月改正（会費2,000円）
昭和55年10月17日改正、同年11月21日施行
平成元年４月改正（準会員会費徴収を一時停止）
平成６年３月18日改正、同年３月25日施行
会費改訂（正会員および特別会員10,000円　準会員2,000円）
平成20年３月21日改正、同日施行
（正会員および評議員中、助教授を准教授とし、助教を加える。）

以上

編集委員

神　崎　直　美

小　堀　隆　司

樊　　穎

城 西 人 文 研 究　〈第 33 巻〉

平成30年 3 月30日

編　集　兼　発　行　人　城西大学経済学会　人文研究編集委員会

（〒350－0295）　埼玉県坂戸市けやき台1－1　TEL　049－286－2233（代）

© 代 表 者　上　山　邦　雄

印　刷　所　埼玉県鶴ヶ島市脚折町1－19－40　(有) 東京工芸社　TEL　049－285－4611

Vol. 33 **March 2018**

JOSAI JINBUN KENKYU

—— Studies in the Humanities ——

Contents

In the Tourism of Kawagoe, The Viewpoint to "KURAZUKURI" Buildings, and that Change Suzuhiko TAKAHASHI・Takumi YAMASHITA ……Chiaki OGUCHI・Katsumi FURUKAWA（1）

"End" less Pain — "The End of August" by Yu Miri ……Kazumi KAMIMURA（49）

The Gender System Subverted / Stabilized by Boys Love Comics: A Possibility of Boys Love Comics from the Feminist Perspective ……Minoru OHASHI（69）

* * *

A Marriage Custom in Early Modern Daimyo: The Case of Naito Masayori, Who Governed Nobeoka Domain in Hyuga Province, and Mitsuhime ……Naomi KANZAKI（*1*）

A Translation of the KANEKO Misuzu's Poems into Chinese（3） ……Ying FAN（*23*）

The Structure of Polarized Thinking in Yeats's *Vision*（1925） ……Ryuji KOBORI（*47*）

Edited by Josai Keizai-Gakkai

in the Faculty of Economics of Josai University